

グループでの話し合いを取り入れた鑑賞や、鑑賞と関連した小作品を作成し学びを体験的に捉える活動を通して、表現とそれらが作品にもたらす効果や感情とを結び付け見方や感じ方を広げ、深めていく授業

第2学年3組 美術科学習指導案

指導者 教諭 落合 睦美  
場 所 美術室

1 題材名 ゴッホの『ぐるぐる』を探ろうーゴッホ絵画「うずまき」の正体ー

2 目 標

- (1) 作者の心情や意図，創造的な表現の工夫について積極的に味わおうとする。  
(美術への関心・意欲・態度)
- (2) 形や色彩などの性質や，それがもたらす感情を理解し，造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。  
(鑑賞の能力)

3 指導に当たって

本題材は，ゴッホ絵画の特徴である「色」や「筆のタッチ」など，見る視点を明確にして作品を鑑賞する活動を通し，自分なりの作品のよさや美しさ，込められた思いを感じ取ったり，話し合い活動を取り入れたグループでの鑑賞活動により作品に対する見方と理解を深めていったりすることをねらいとしている。

【鑑賞活動に関する意識調査】 (平成23年6月13日 第2学年3組 36人実施)

- ① 鑑賞の学習に関心がありますか。  
ある 11人 ない 5人 どちらでもない 20人
- ② ゴッホの作品で知っているものを挙げましょう。(複数回答)  
ひまわり 28人 自画像 36人 星月夜 21人 糸杉 13人
- ③ 「ゴッホらしい表現」と言える絵画の特徴を挙げましょう。(複数回答)  
黄色・オレンジなどの明るい色 30人  
力強い筆のタッチ 23人  
はっきりした色使い 25人  
うずまきみたいな背景 29人  
分からない 8人

本学級の生徒は，今学期の題材である自画像の制作過程において一度ゴッホの自画像を鑑賞している。その中でゴッホの短い画家としての人生や，作品の特徴について触れゴッホ絵画についての知識を深めることができた。アンケート調査においてもゴッホ絵画の特徴についての的確な特徴を述べている。更に鑑賞活動を深めていくためには視覚から捉えた表現上の特徴と，表現が生み出す効果や込められた思いとを結び付けて作品を捉えることが必要となる。生徒は自画像制作後，背景をつくり込む作業に入っていく。表現と思いとをつなげる学習を展開することで，作品制作にも広がりや深まりを得ることができるのではないかと考える。

そこで，自画像で鑑賞に親しんだゴッホの絵画数点を活用し，表現上の特徴がもたらす効果や作品の本質との関わりを鑑賞する視点を定めて捉える活動や，グループでの鑑賞を取り入れ感じたことを互いに交換したり共有したりする活動を通して，見方や感じ方に深まりをもたせたい。また，学んだことを具体的に実感として捉えることが難しいのがこれまでの鑑賞学習の課題であったので，鑑賞活動後に学習と関連した短時間でできるアクティビティを取り入れ，小作品を制作することで学びを体験的に捉えさせたい。

4 指導計画と評価計画 (1時間取扱い)

次	時	本時の目標	評価の観点				評価規準 おおむね達成	言語活動の充実を図るための手立て	
			関	発	表	鑑			
1	1	形や色彩などの性質や，それがもたらす感情を理解し，造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。	○			◎	観察 ワークシート 発表 アクティビティ制作	作品の表現の特徴と，それらの表現が生み出す効果や込められた思いを結び付けて，よさや美しさを感じ取っている。	イメージと言葉とを結び付けるために，どんな言葉が作品を指し示すキーワードなのかを，グループでの話し合いから気付くことができるようにする。

5 本時の学習

(1) 目標

形や色彩などのゴッホの独自の表現やそれらがもたらす感情を理解し、造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。

(2) 準備・資料

ワークシート、拡大図版（星月夜、糸杉、種まく人）、図版の一部を拡大したもの、  
 絵画カード（3セット×9班）、パネル、画用紙、クレヨン、写真、絵の具

(3) 展開

(○は知識・技能の習得 ◎は言語活動の充実を図るための手立て)

学習活動・内容	時間	指導の留意点 (評)は評価規準)
1 本時の課題をつかむ。 (1) ゴッホ作「星月夜」, 「糸杉」, 「種まく人」の一部を拡大した図版を全員で鑑賞する。 (2) 筆のタッチや色使い, 表現などを表す言葉を引き出す。 (3) 各拡大図版で全体を捉える。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入で扱う鑑賞作品は細部の筆のタッチ(渦)などが分かるまで拡大し, 作品と本時の学習への関心を高めたい。</li> <li>拡大図版から捉えられる絵画の特徴に着目し形や色彩などの表現を表す言葉を引き出す。</li> <li>◎形や色彩, 表現方法等を表す言葉を掲示し, 視覚から得た情報と言葉が結びつくようにさせたい。</li> <li>拡大図版で全体像を捉え, 「渦」の表現とその他のモチーフの相互関係を考えさせたい。</li> </ul>
ゴッホの絵画を鑑賞し, 「ぐるぐる-渦-」の正体を探ろう		
2 「ぐるぐる-渦-」を鑑賞しグループで分析をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>鑑賞する作品(選択)</b>                          ・星月夜                          ・糸杉                          ・種まく人                     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>鑑賞視点(役割分担)</b>                          ①使われている色彩                          ②筆のタッチ                          ③描かれているもの                     </div>	2 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習形態をグループにする。(9班編制)</li> <li>鑑賞したいゴッホの作品を三つの中からグループごとに選択し, 配布された絵画カードを使って鑑賞活動を進めていく。</li> <li>最初は使われている色彩, 筆のタッチなど見る視点を定めて鑑賞する。</li> <li>グループ全員が意欲をもって分析に参加できるように, 役割分担をし, 自分のすべきことを明確にさせる。</li> <li>グループごとに十分な話し合いができるように, リーダーに助言するなどグループを回りながら支援をしていきたい。</li> <li>※自分で調べることが難しい生徒には, 机間指導で, 具体的に絵画の形や色彩を指や言葉で指し示し, 特徴を調べる手助けをする。</li> <li>全員が調べ終わったら, 情報をワークシートで一つにまとめ, 「渦」が絵画全体にどんな影響や効果を与えているかを分析する。</li> <li>※分析が不十分な視点は, グループ全員で補足をしよう助言し, 見方を広げさせたい。</li> <li>分析した結果を作品ごとにパネルに掲示し, 全体で「ぐるぐる-渦-」の正体を共有する。</li> <li>「渦」の意味を深く追求するのではなく, それが作品の本質とどんな関わりがあるのか推測するに留める。</li> </ul>
3 各絵画ごとに分析した結果を, 全体で共有する。	2 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちなりの「渦」の意味の解釈ができたところで, 小作品を作成し, 学びを具体化する。</li> <li>上手に作成することが目的ではないので, 自分らしい色を存分に使い, 思いのままに「渦」を描いてみる。</li> </ul>
4 アクティビティ「私のぐるぐる」で, 分析から感じたこと, 学んだことを小作品化する。 (1) 今の自分のイメージに合う色を考える。 (2) 写真の背景に思うままに「渦」を描いてみる。 (3) 作品を見合う。	3 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎作品の表現の特徴と, それらの表現が生み出す効果や込められた思いを結び付けて, 造形的なよさや美しさを感じ取っている。</li> <li>【鑑賞の能力】(観察, ワークシート, 小作品)</li> <li>ゴッホになったつもりで, 今の心や気持ちをクレヨンに乗せ, 自由に描かせたい。</li> </ul>
5 本時のまとめをする。	4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見る視点を明確にし, 視点に沿って常に絵画を見ることができるようにする。</li> <li>見方の視点を今後の鑑賞活動や制作に生かすことができるようにする。</li> </ul>